

こども

# 子供のインターネットバイブル

あんない

案内いたします

み ひと

## まぼろしを見る人、エゼキエル



ぶん  
文: Edward Hughes

え  
絵: Lazarus

かいさくしゃ  
改作者: Ruth Klassen

ほんやくしゃ  
翻訳者: Yuko Kajiki

監修者: Dan Ellrick

しゅっぱんしゃ  
出版社: Bible for Children

[www.M1914.org](http://www.M1914.org)

©2007 Bible for Children, Inc.

きよか たにん う かぎ はなし また  
許可: 他人に売らない限り このお話のコピー、又はプリントは、  
きよか  
許可されています。



むかし つよ ぐん せ ぐん  
ずっと昔、とても強い軍たいがユダを攻めてきました。その軍たいは、たくさ  
かみ たみ い  
んの神さまの民をつかまえ、バビロンへもどって行ったのです。



びと

い

ひとびと

じぶん

とらわれ人となって、バビロンへつれて行かれたユダの人々は、自分のふるさと

がわ

す

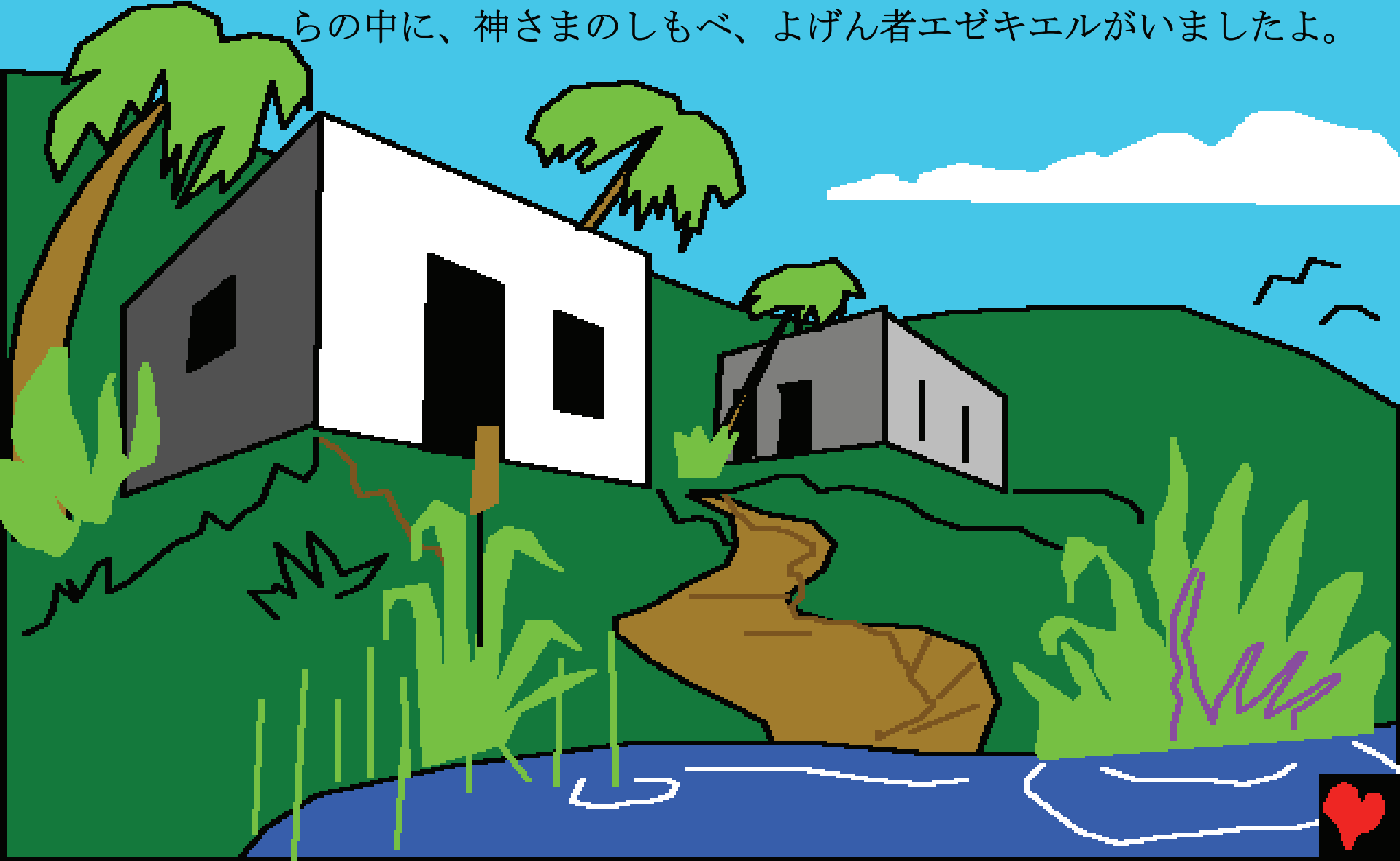
から、とおくとおくはなれたケバル川のほとりに、住むようになりました。かれ

なか

かみ

しゃ

らの中に、神さまのしもべ、よげん者エゼキエルがいましたよ。



ある日、<sup>ひ</sup>神<sup>かみ</sup>さまはエゼキエルに、まぼろし<sup>み</sup>を見せられました。

そこでは、神<sup>かみ</sup>さまの栄光<sup>えいこう</sup>が、4人<sup>にん</sup>のようせい<sup>ようせい</sup>たちのすがたとなっ

て、<sup>ひか</sup>光りかがやいていました。そのようせい<sup>ひとり</sup>たち一人一人は、それ

ぞれに4つ<sup>も</sup>のかおと、4まいのはね<sup>も</sup>を持っています。ようせい<sup>も</sup>たち

の上<sup>うえ</sup>には、うつくしいサファイアの王<sup>おう</sup>さまのイスがありました。ま

ばゆい<sup>ひかり</sup>光が、あふれるようにふりそそぎ、それはまるで、もえる虹<sup>にじ</sup>

のよう。エゼキエルは、あまりのかがやきに、<sup>おも</sup>思わず<sup>した</sup>下をむいてしま



かみ  
神さまは、エゼキエルに言われました。「わたしはあなたを、イスラエルの  
こどもたちのところへ送ろう。かれらに、わたしのことばを伝えるのだ。かれ  
らは、もうわたしの手に負えなくなってきた。」あれ、  
とつぜんまきものを持った手が、あらわれました。

「エゼキエル、このまきものを食べなさい！」

つづいて、また声が聞こえました。「さあ、

行け！イスラエルの民のところに行き、

わたしのこ

とばを伝える  
のだ！」

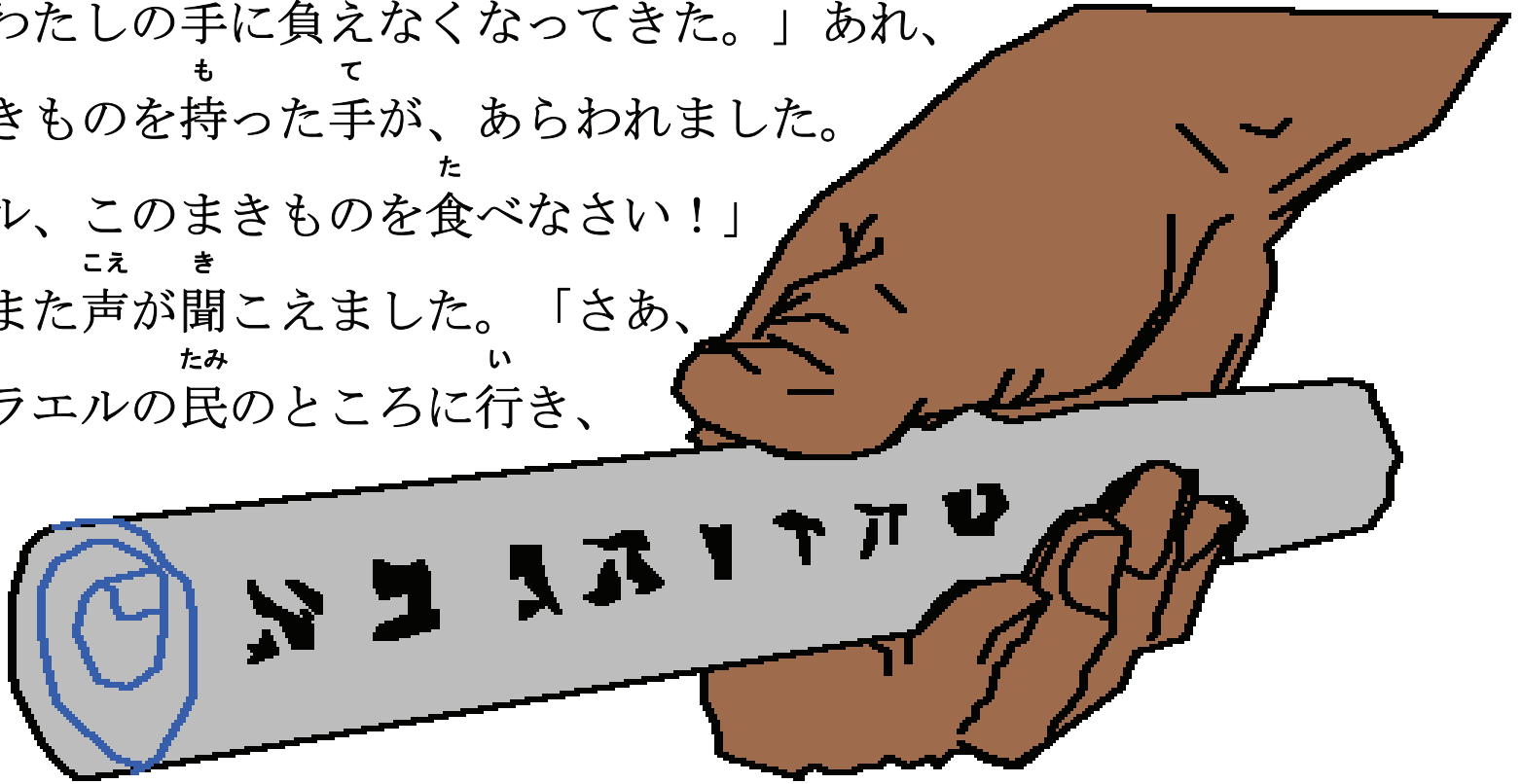
なんてへん

なめいれい

でしょうか。

でもね、エゼキエルは、ちゃんとめいれいどおり、

まきものを食べて、出かけました。



エゼキエルは、神さまのれいに引き上げられ、とらえ人となったユダヤ人が住ん

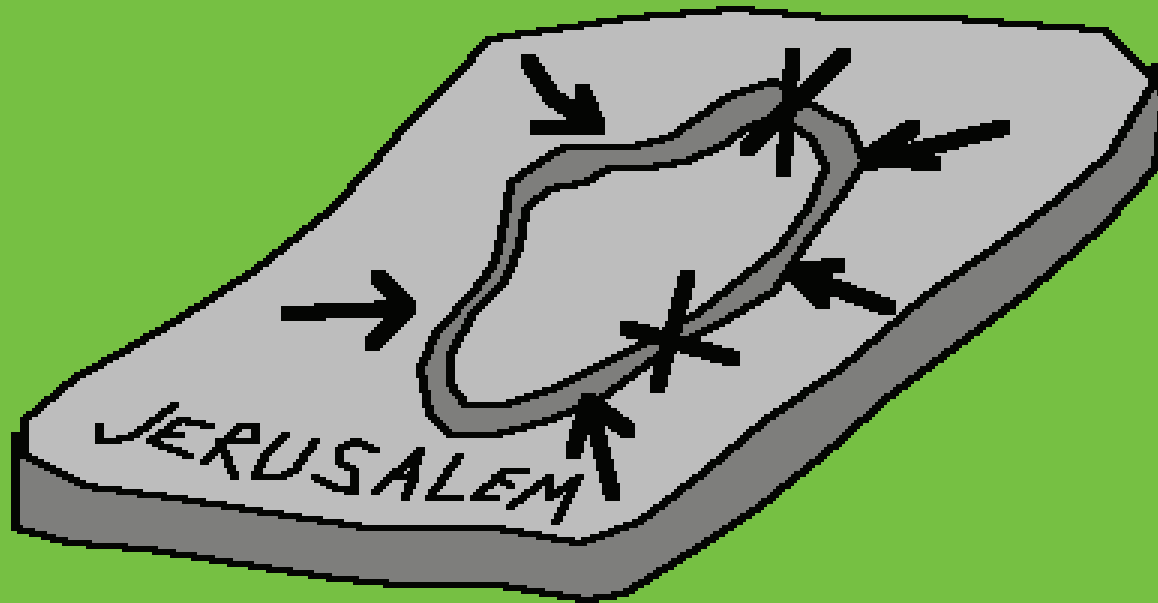
でいるケバル川のもう一つの  
所に、つれていかれましたよ。

そこで、7日間、ユダヤ人たちのそばにいて、かれらのようす  
を見ていたエゼキエルは、かれらが、ひどいことばかりしているので  
ほんとうにおどろいてしまいました。

神さまは、エゼキエルに言われました。「この地で見はりばんになるように。」それから、エゼキエルは、  
悪いことをしている人々に、

「神さまにしたがわないことは、もうやめよう！」  
と注意するようになりました。





ひとびと かみ

エゼキエルは、人々に神さまのことばを、はっきりとわからせるため、いろいろな変わったことをしました。たとえばね、かれはエルサレムの絵を、土のタイルのかけらに、ひっかいて描きました。その絵は、たくさんの兵士たちが、エルサレムのまわりを囲んでいる絵でしたよ。たぶん、みんなそこにあつまって、かれのうしろから、その絵を見ていたことでしょうね。エゼキエルは、神さまの聖なる町が、もうすぐほろぼされてしまうだろうと、みんなに伝えました。





きた おうこく

北の王国イスラエルは、390年ものあいだ、神さまにしたがいませんでした。

ねん

かみ

みなみ おうこく

そして南の王国ユダは、40年のあいだ、したがわなかったのです。そんなに

なが

くに

長いあいだ、したがわなかったから、イスラエルの国は、ほろぼされてしまった

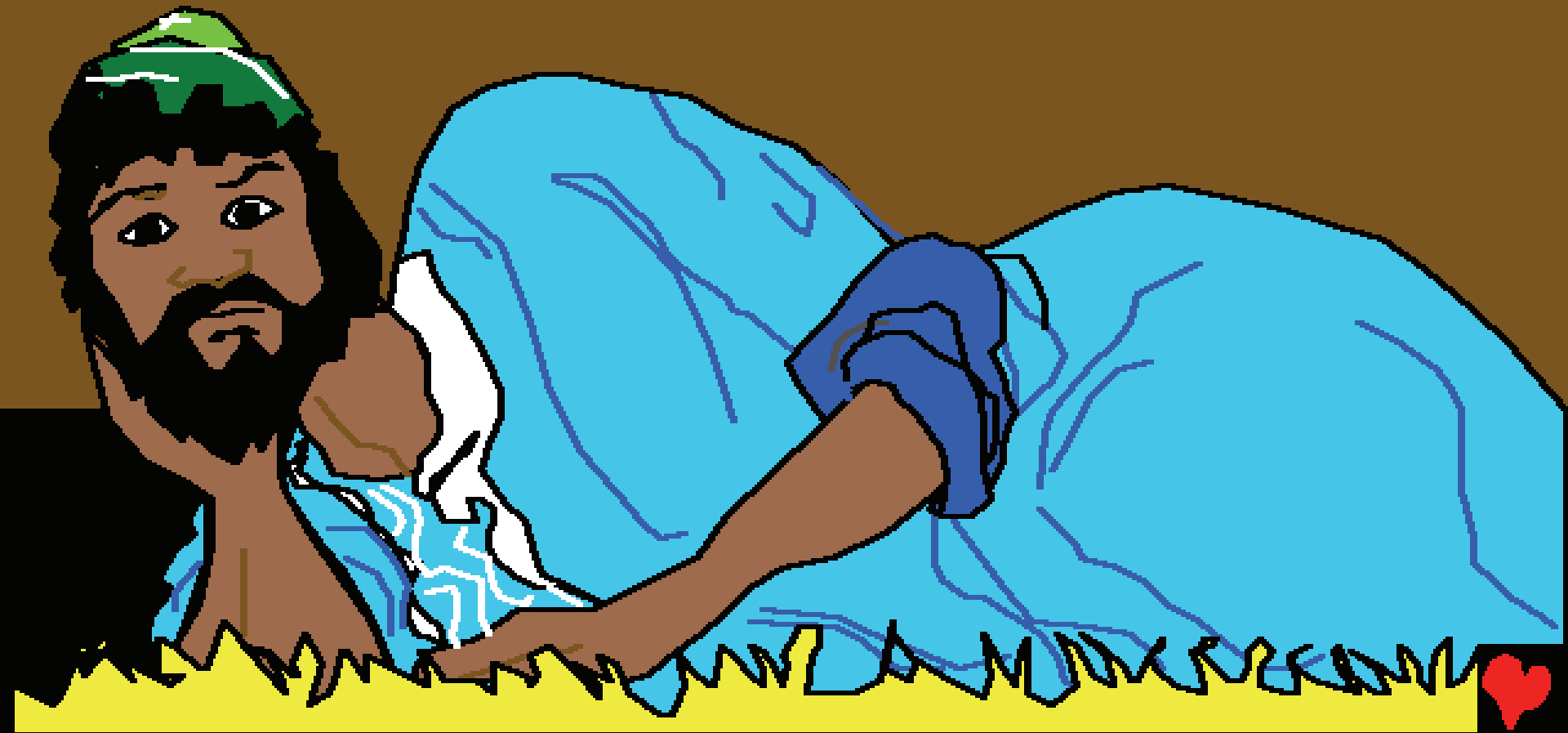
くに いま

のですね。そして、ユダの国も今また、なくなってしまうそうですよ。そこで、

かみ

い

神さまはエゼキエルに言われました。

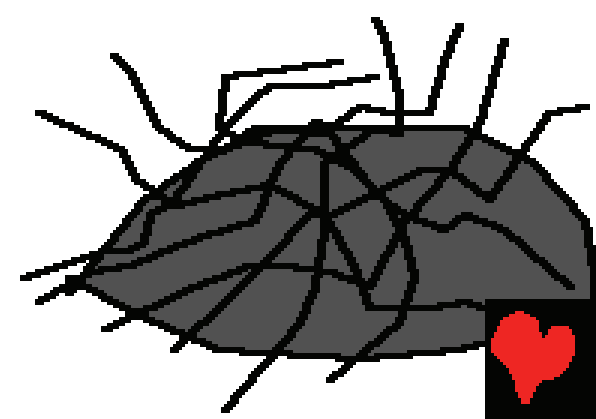
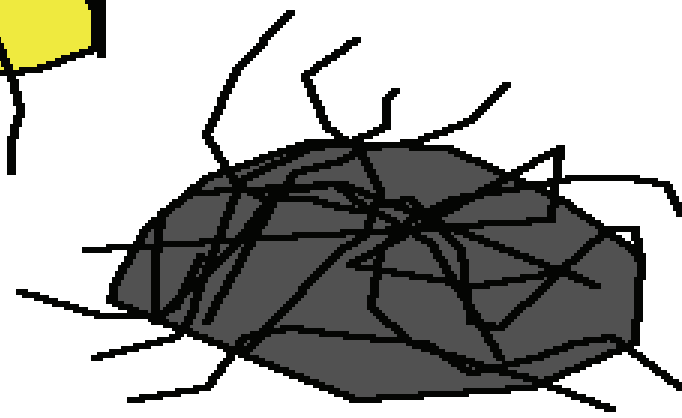


「さあ、からだの左<sup>ひだり</sup>がわを下にして、390日のあいだ、横<sup>よこ</sup>むきになったまま  
でいなさい。それから、こんどは右<sup>みぎ</sup>がわを下にして、40日のあいだ、同じよう  
にしなさい。」それは人々<sup>ひとびと</sup>に、罪<sup>つみ</sup>をおかした年<sup>とし</sup>のかずを、思い出<sup>おも</sup>させるため<sup>だ</sup>だった  
のです。





ひとびと おも  
たぶん、人々ははじめ、こう思ったことでしょう。  
ひと  
エゼキエルって、なんてへんな人なのだろうって。  
かみ い  
でもね、エゼキエルは、ただ神さまが言われるとお  
おこな ひ  
りに、すべてを行っただけなんです。ある日、エゼ  
じぶん け さんぶん  
キエルは、自分のかみの毛をそりおとし、その三分  
いち  
の一をやいてしまいました。これは、バビロンの  
ぐん す  
軍たいが、せめてきたとき、エルサレムに住んでい  
ひとびと さんぶん いち びょうき た  
る人々の三分の一が、病気になったり、または食べ  
し  
るものがなくなって、死んでしまうだろうということ  
とでした。



つぎに、エゼキエルは、また自分のかみの毛の三分の一をとり、それをかれの  
つるぎ さんぶん いち ひとびと ぐん つるぎ  
剣で、こまかくきざみました。それは三分の一の人々が、てきの軍たいの剣  
し  
で、死んでしまうだろうということでした。さて、エゼキエルは、さいごにの  
さんぶん いち け かぜ ふ  
こった三分の一のかみの毛を、風に吹きとばしましたよ。あれあれ、かれは、そ  
なんぼん け と じぶん ぎ  
こから何本かのかみの毛を取って、自分のうわ着的すそのところに、ぬいこんで  
かみ なんにん ひとびと  
いますね。それは、神さまが何人かの人々を、やくそくしてくださっ



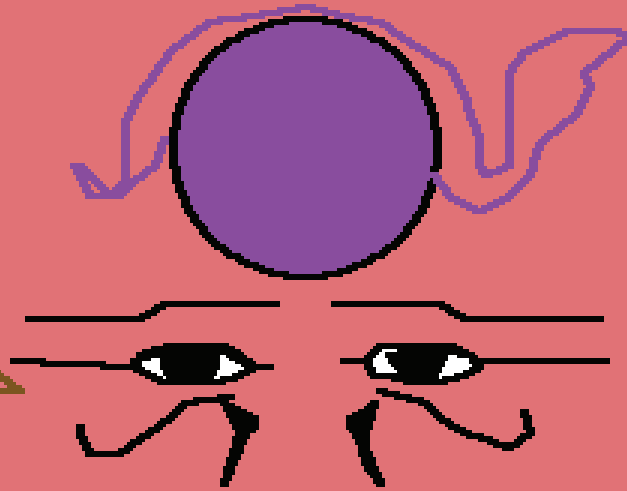
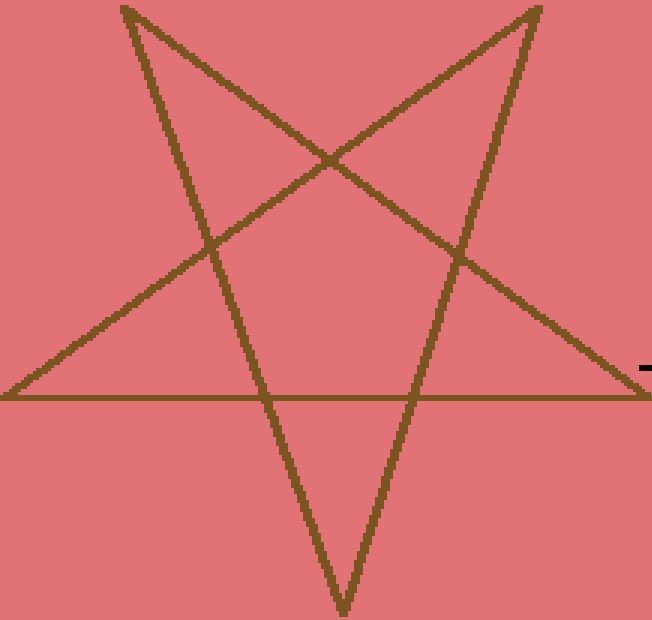
とち あんぜん  
た土地に、安全  
かえ  
に返してくださるという  
ことだったのです。



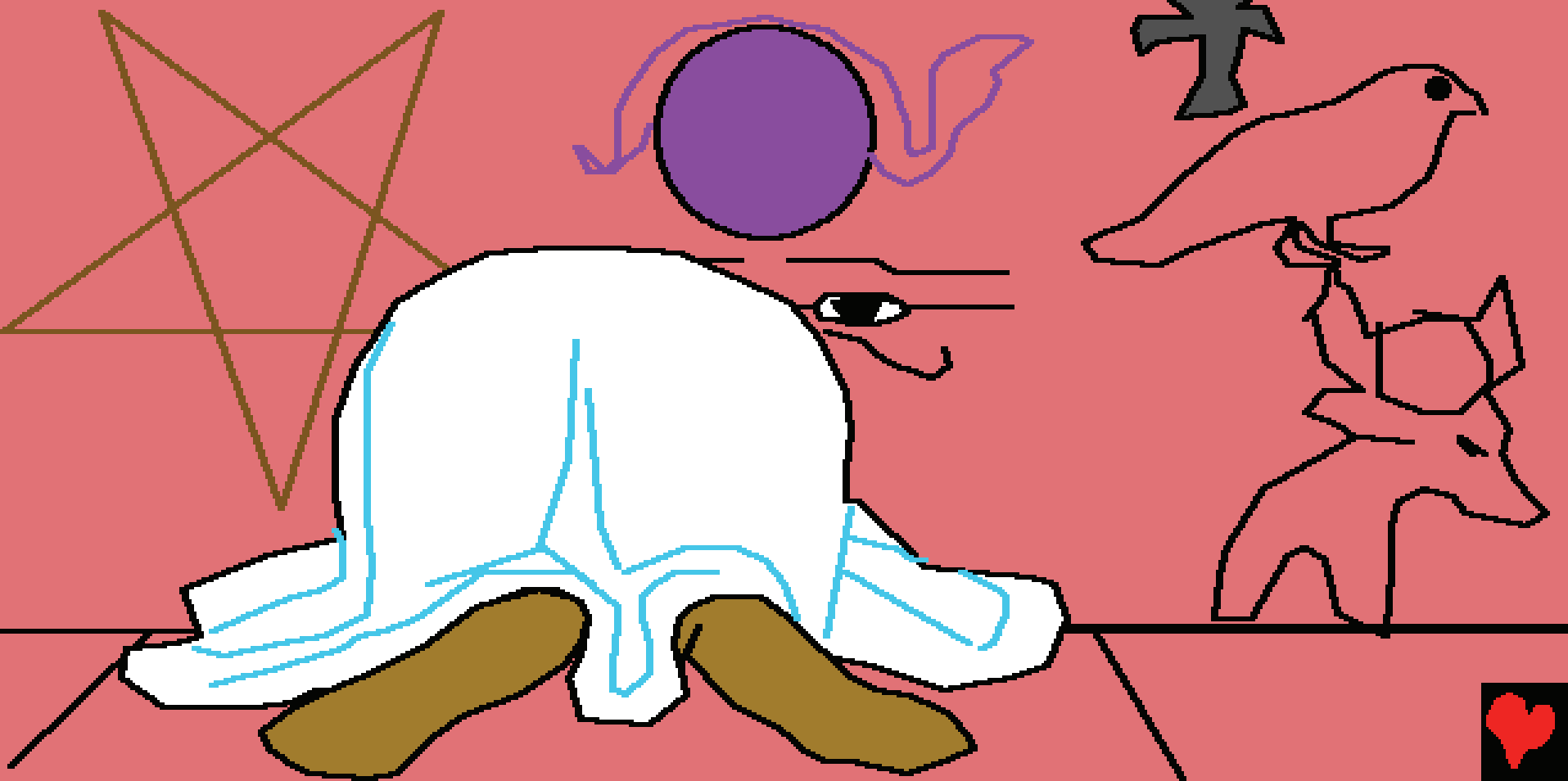
このゆう気あるよげん者エゼキエルは、とらわれ人となっている  
ユダヤ人に言いました。「みんな、聞いてくれ！これからは、  
もっと悪くなっていくんだ！みんながねがっているよ  
うに、よくなるはないんだよ。」これを聞いた人々  
は、カンカンに怒りました。でもね、エゼキ  
エルは、神さまのことばを話しつづけまし  
た。ある日、エゼキエルが、イスラエルの  
老人たちといっしょにすわっていると  
神さまが、エゼキエルにまぼろしを見  
せられましたよ。このまぼろし  
の中で、神さまは、エゼキエル  
をかかれのかみの毛で  
持ち上げられ、エルサ  
レムの神でんまで、はこばれました。

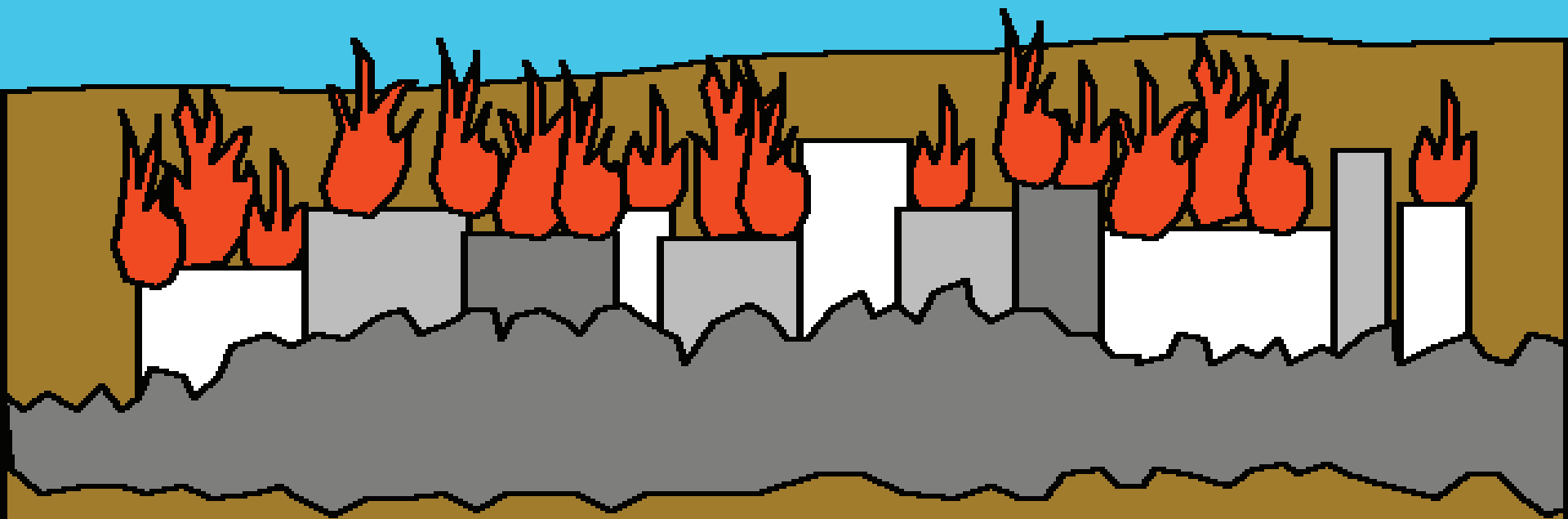


しん なか かみ けが  
神でんの中で、神さまはエゼキエルに、ぞーっとするような汚れたけどものや、  
ぞう み しん なか  
ぐう像などを見せられました。これらのものは、ぜったいに神でんの中に、  
おいてはいけないものでした。



じつは、こののしどう者たちは、<sup>しや</sup>神さまのかわりに、<sup>かみ</sup>これらのものを<sup>れいはい</sup>礼拝して  
<sup>かみ</sup>いたのです。<sup>つた</sup>神さまは、<sup>かみ</sup>つぎのことも<sup>えいこう</sup>伝えられました。「<sup>きゆう</sup>神さまの<sup>さ</sup>栄光は、この  
<sup>さ</sup>宮でんを去ってしまい、<sup>さ</sup>ほろぼされてしまうだろう。」それから、まぼろし  
<sup>ひとびと</sup>が、きえてしまいましたよ。エゼキエルは、このことをユダヤの人々に、はなし  
ました。

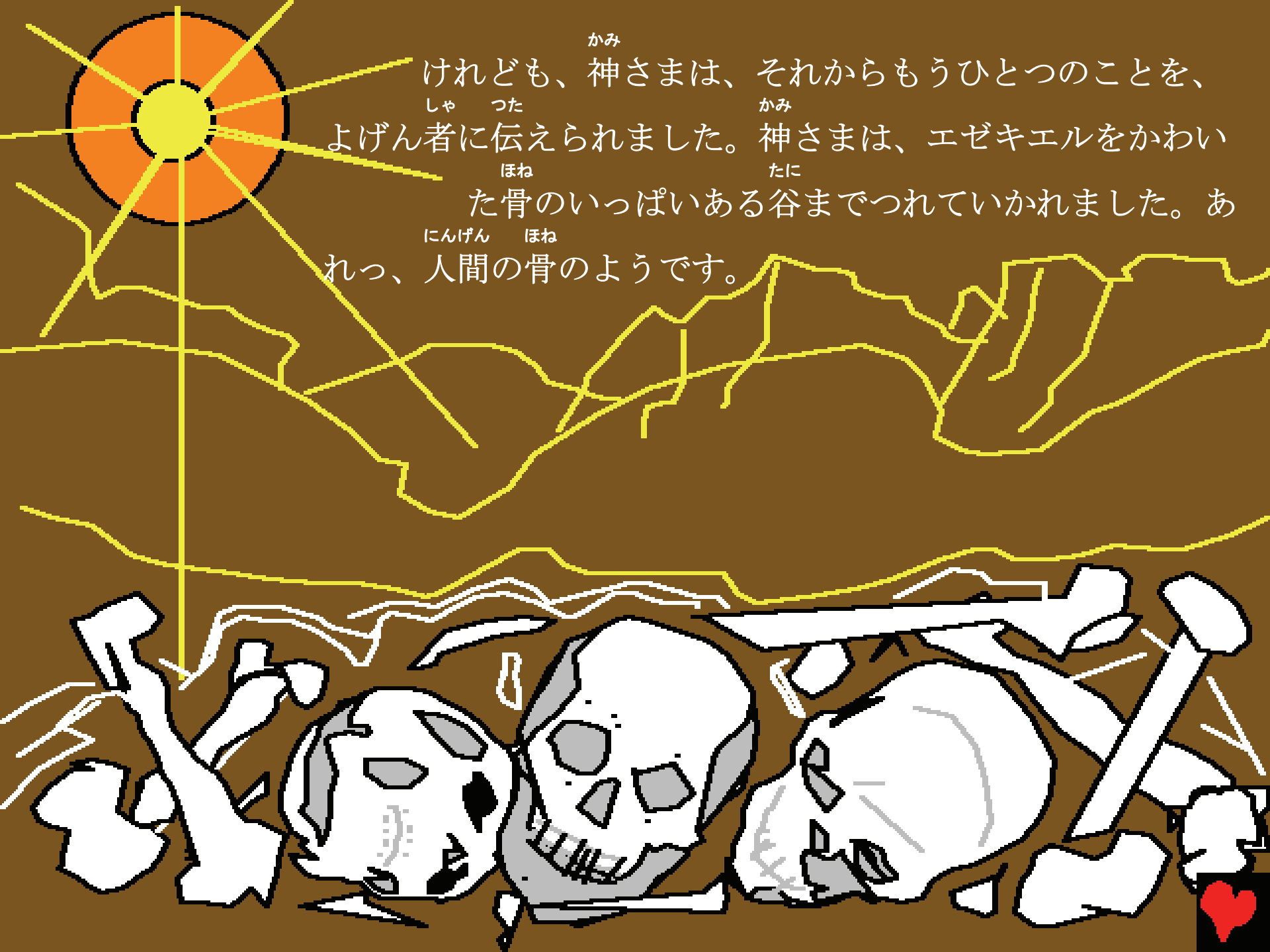




かみ い  
神さまが言われたことは、みんなそのとおりにになりました。エルサレムは、ほろ  
ぼされてしまい、おお ひとびと 多くの人々は、ころされてしまったのです。バビロンで、とら  
びと ひとびと き おも かみ  
われ人となっているユダヤの人々は、それを聞いたとき思いました。ああ、神さ  
かみ たみ  
まは、神さまの民を、すっかりあきらめられたのだろうか。もう、  
たす  
助けてくださらないのだろうか。

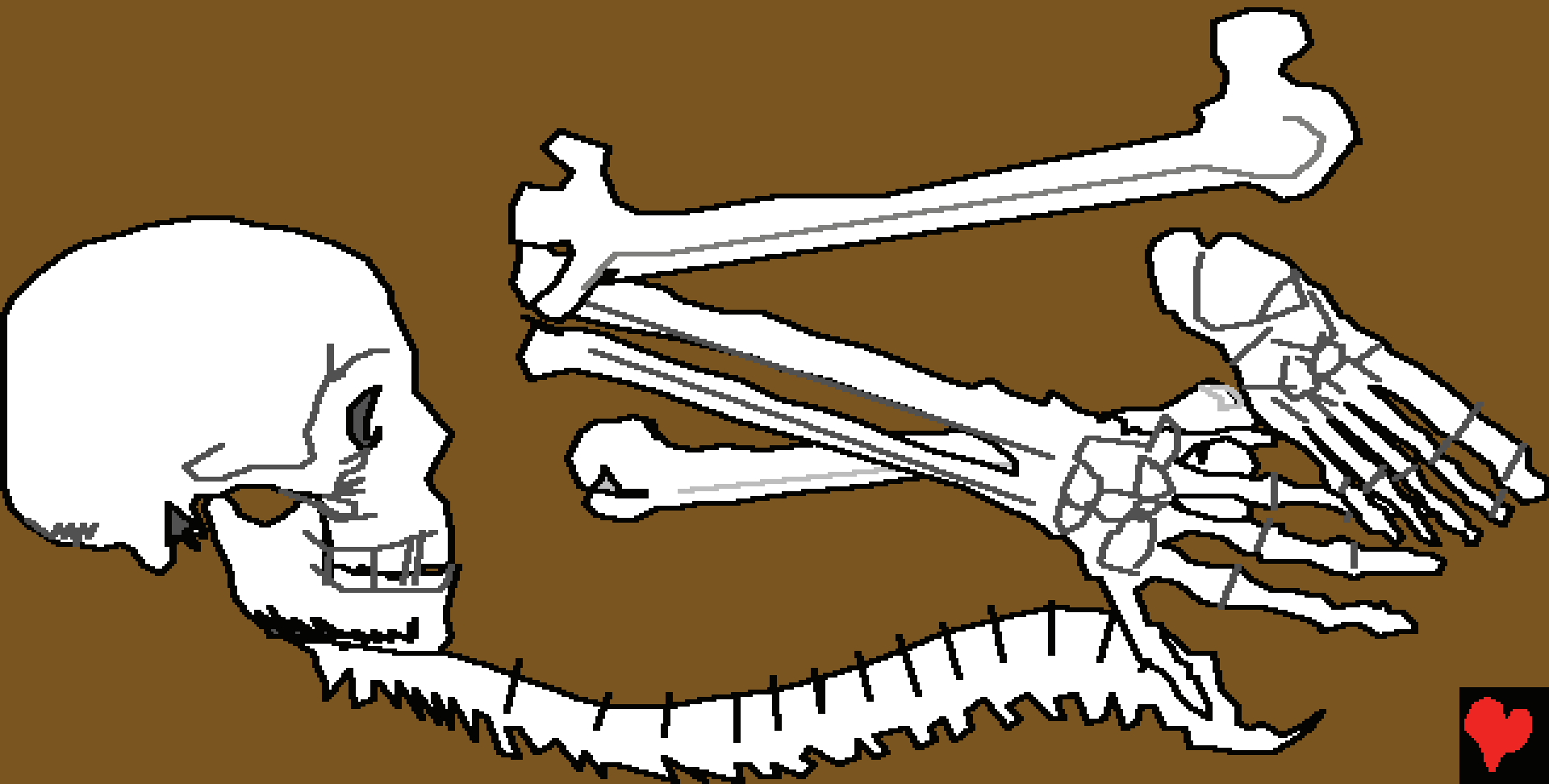




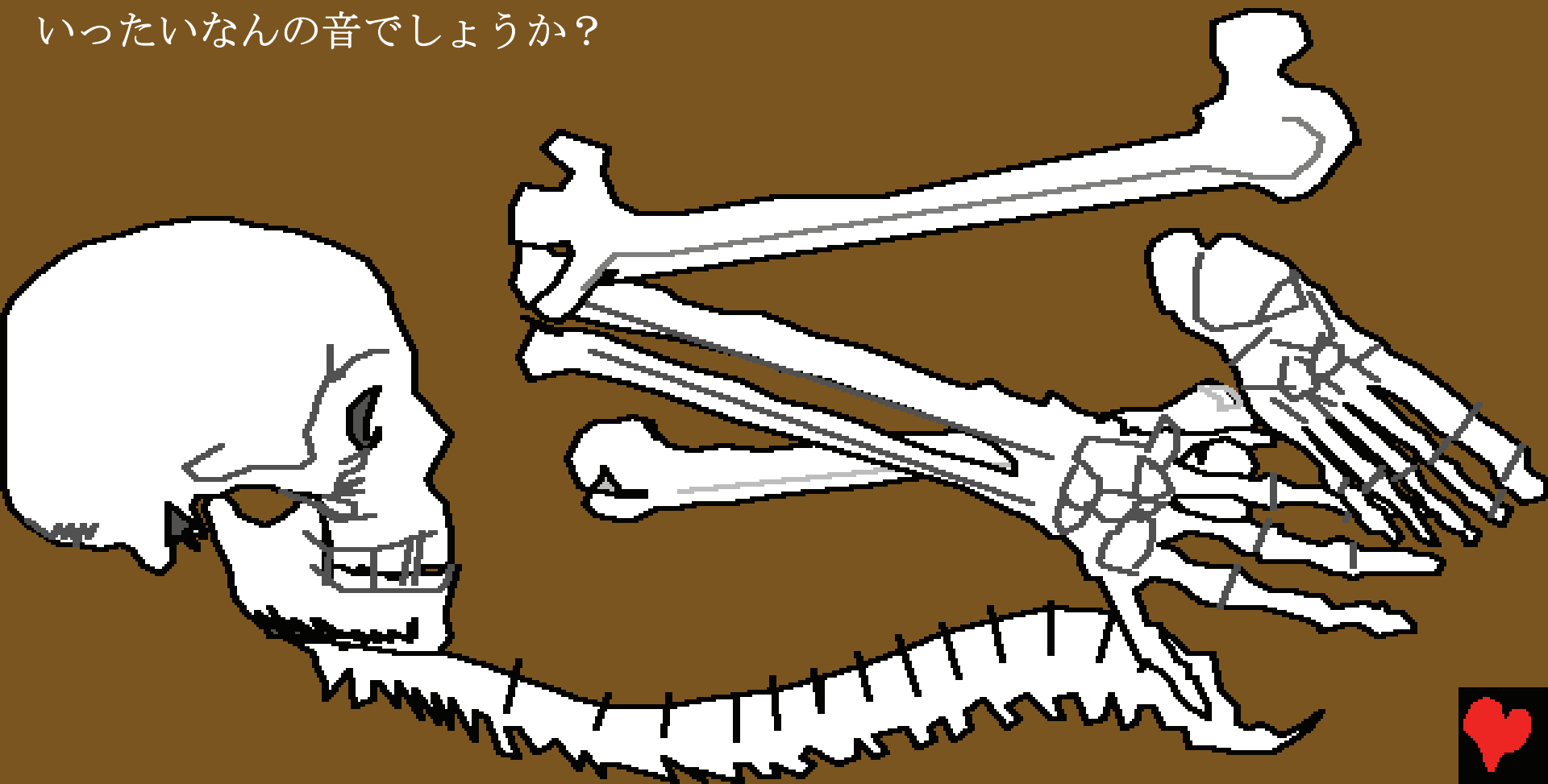


けれども、神さまは、それからもうひとつのことを、  
よげん者しゃ ったに伝えられました。神さまは、エゼキエルをかわい  
た骨ほねのいっぱいある谷たにまでつれていかれました。あ  
れっ、人間にんげんの骨ほねのようです。

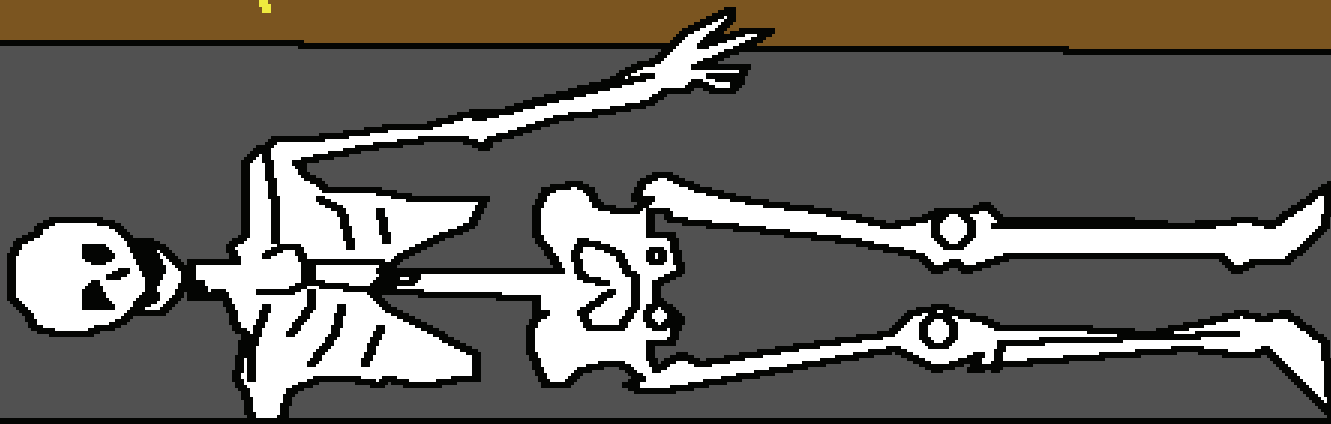
ひと こ ほね い  
「人の子エゼキエルよ、これらの骨は、また生きかえることができるだろう  
か。」神さまは、エゼキエルにたずねられました。「ああ、主なる神さま、あなた  
は、なにもかも、わかっていらっしやいます。」そう、もちろん、かわいた骨  
が、もういちど生きかえることなんかできませんね。



しゅ い ほね つた  
主は、言われました。「エゼキエル、これらの骨に、わたしのことばを伝えるの  
い ほね しゅ き い  
だよ。こう言いなさい。かわいた骨よ、主のことばを聞け！おまえたちは、生き  
かえ しゅ  
返るだろう！」エゼキエルは、主の言われるとおりにしましたよ。すると、どこ  
おと き  
からでしょうか、カタカタっていう音が聞こえてきました。みなさん、それは、  
おと  
いったいなんの音でしょうか？



よげん者<sup>しゃ</sup>エゼキエルが、びっくりして<sup>み</sup>見ていると、あれよ、あれよ、<sup>い</sup>と言うま  
に、骨<sup>ほね</sup>と骨<sup>ほね</sup>がつながって、もとの人<sup>ひと</sup>のかたちになっていきますよ。

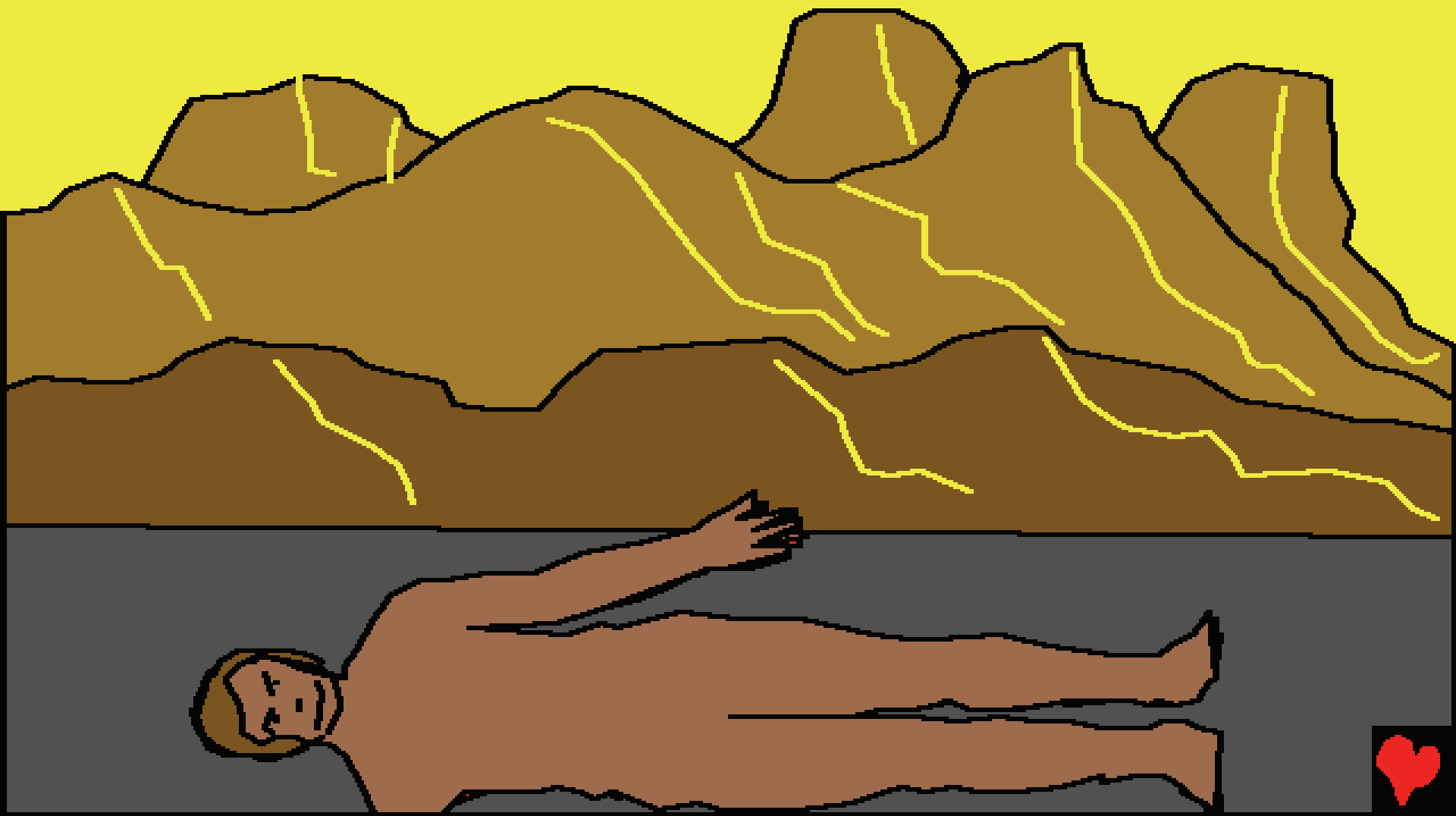


ほね にく

それから、骨に肉がつきました。



すると、こんどはその人たちに、皮ふがつけられました。でもね、かれらは  
まだ、息を**いき**していませんね。

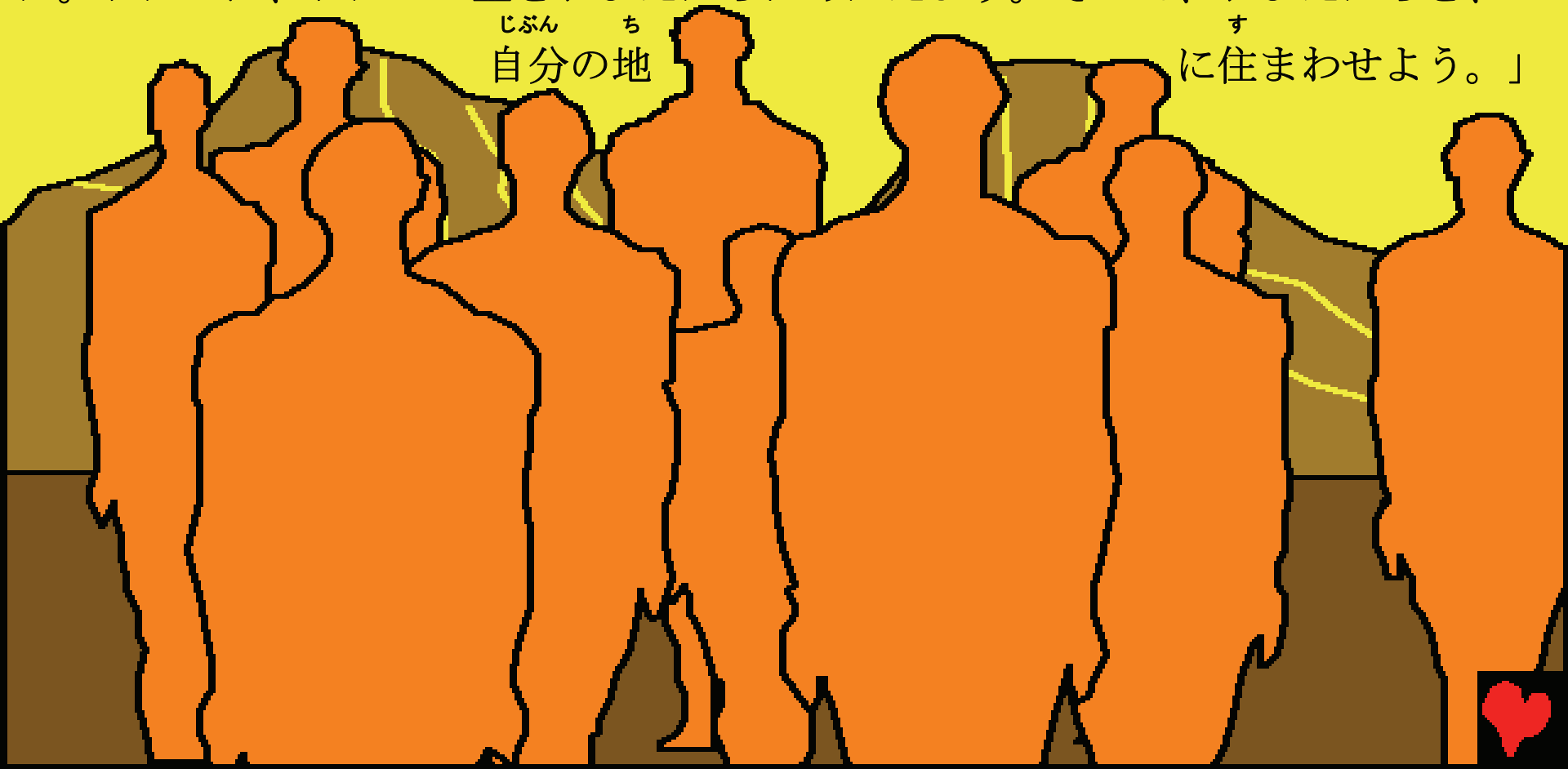


主は言われました。「人の子よ、こう言って神のことばを伝えるのだよ。息よ、  
四方から吹いてきておくれ！生きかえらせるように、吹きかけておくれ！」

エゼキエルがそのようにすると、どうでしょう。今まで死んでいた人たちが、  
息をし始めたのです。そして、自分たちの足で立ち上がりました。今や、かぞえ  
られないほど多くの軍たいが、谷まにあふれていますよ。



かみ  
神さまはね、よくわかっていらっしやいました。エルサレムが、ほろぼされて  
びと ひとびと じぶん  
しまったとき、バビロンでとらわれ人となっているユダヤの人々が、自分たちは、  
たす おも  
もう助からないんだって思っていることをね。そこで、エゼキエルに、まぼろしを  
み つた ほね たみ  
見せられ、伝えられました。「これらの骨は、イスラエルのすべての民ぞくなの  
れい  
だ。わたしは、わたしの霊をおまえたちにあたえよう。そして、おまえたちを、  
じぶん ち じぶん  
自分の地 す  
に住まわせよう。」





なんてすばらしい神さまからのメッセージでしょう！エゼキエルに言われた  
かみ  
神さまのやくそくは、ほんとうでしたね。とうとうユダヤの人々は、自分たちの  
ひとびと じぶん  
ち  
地にもどることができたのですから。今、人々はよくわかりました。そう、  
いま ひとびと  
しゅ かみ いえ  
主なる神が、みんなを家へつれてかえってくださったって。

かみ  
神さまのことばは、い  
つもしんじつ、いつも  
かなえてくださいます。



み ひと  
まぼろしを見る人、エゼキエル

かみ み せいしょ する  
神さまの御ことば、聖書に記されているおはなしです。

しょ  
エゼキエル書

み ひら ひかり あた  
あなたの御ことばが開かれると、光が与えられます。

しへん  
詩篇 119:130



おわり



せいしょものがたり わたし かみ  
この聖書物語は、私たちをつくってくださったすばらしい神さまについて、  
おはなししています。神さまは、あなたが、神さまのことをしてほしいと、  
おも  
思っ<sup>おも</sup>ていらっ<sup>おも</sup>しゃるのです。

かみ わたし かみ  
神さまは、私たちが、よくないことをしてしまったことを、していらっ<sup>かみ</sup>しゃいます。それを、神さま  
は、罪<sup>つみ</sup>とよばれています。その罪<sup>つみ</sup>のむくい<sup>し</sup>は、死<sup>し</sup>です。

かみ あい ひとり こ  
けれども、神さまは、あなたをと<sup>かみ</sup>ても愛<sup>あい</sup>していらっ<sup>ひとり</sup>しゃいますので、ただ一人<sup>こ</sup>のみ子<sup>こ</sup>イエス<sup>こ</sup>さまを、こ  
よ おく  
の世<sup>よ</sup>に送<sup>おく</sup>ってくださ<sup>つみ</sup>いました。そしてあなた<sup>つみ</sup>の罪<sup>つみ</sup>のため<sup>じゅうじかじょう</sup>に、十字<sup>な</sup>架上<sup>な</sup>で亡<sup>な</sup>くなられたのです。けれども  
それから、イエス<sup>てんごく</sup>さまはよみ<sup>てんごく</sup>がえられ、天国<sup>てんごく</sup>のいえへ、もど<sup>てんごく</sup>られたのですね。もし、あなたがイエス<sup>てんごく</sup>さ  
まを信<sup>しん</sup>じ、ゆる<sup>しん</sup>してくださいとおね<sup>しん</sup>がいするなら、イエス<sup>しん</sup>さまは、ゆる<sup>しん</sup>してくださいます！イエス<sup>しん</sup>さま  
は、今<sup>いま</sup>、あなた<sup>いま</sup>の所<sup>ところ</sup>へ来<sup>き</sup>て、あなた<sup>なか</sup>のこころ<sup>す</sup>の中<sup>なか</sup>に住<sup>す</sup>んでくださ<sup>す</sup>います。そして、いつ<sup>す</sup>までもイエス<sup>す</sup>さ  
まといっ<sup>い</sup>しょ<sup>い</sup>に生<sup>い</sup>きる<sup>い</sup>ことができますよ。

もし、あなたが、これがほん<sup>しん</sup>とうだ<sup>しん</sup>と信<sup>かみ</sup>じるなら、神<sup>い</sup>さまにこう<sup>い</sup>言<sup>い</sup>ってください。  
あい かみ わたし かみ しん ひと わたし つみ な  
愛<sup>あい</sup>する神<sup>かみ</sup>さま、私<sup>わたし</sup>は、あなた<sup>かみ</sup>が神<sup>しん</sup>さまと信<sup>しん</sup>じます。あなた<sup>ひと</sup>は人<sup>ひと</sup>となり、私<sup>わたし</sup>たちの罪<sup>つみ</sup>のため<sup>な</sup>に亡<sup>な</sup>くなっ  
てくださ<sup>い</sup>いました。そして、よみ<sup>い</sup>がえ<sup>い</sup>って、いま<sup>い</sup>生<sup>い</sup>きて  
いらっ<sup>わたし</sup>しゃいます。どうか、私<sup>わたし</sup>のこころ<sup>なか</sup>の中<sup>き</sup>に來<sup>つみ</sup>て、罪<sup>つみ</sup>をゆる<sup>つみ</sup>してください。それで、私<sup>わたし</sup>は今<sup>いま</sup>、あた  
らしい命<sup>いのち</sup>を<sup>いのち</sup>いただけ<sup>いのち</sup>ます。そして、いつ<sup>ところ</sup>か、あなた<sup>い</sup>の所<sup>ところ</sup>へ行<sup>い</sup>き、いつ<sup>こ</sup>までもあなた<sup>い</sup>といっ<sup>い</sup>しょ<sup>い</sup>に  
こ  
いる<sup>い</sup>ことができるのです。あなた<sup>こ</sup>にした<sup>い</sup>がえ<sup>い</sup>ますよう、あなた<sup>こ</sup>の子<sup>い</sup>として<sup>い</sup>生<sup>い</sup>きる<sup>い</sup>ことができますよう、たす  
けて<sup>い</sup>ください。アーメン

せいしょ かみ ふくいんしょ  
まいにち、聖書<sup>せいしょ</sup>をよみ、神<sup>かみ</sup>さまとおはなし<sup>ふくいんしょ</sup>しましょう！ ヨハネによる福音書<sup>ふくいんしょ</sup>3：16

